SAPテーブルクエリアダプタご紹介

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

目次

■ **製品概要**
- SAPテーブルクエリアダプタとは
- アダプタ機能一覧

■ **製品構成と連携イメージ**
- 製品構成と連携イメージ

■ **各種処理の設定**
- SAP接続設定処理のイメージ～クエリ選択
- SAPクエリによる検索設定画面
- SAP接続設定処理のイメージ～テーブル選択
- SAPテーブルによる検索設定画面
- 差分管理機能
- 差分管理機能～日付日時をキーとした差分抽出
- 差分管理機能～シーケンス項目による差分抽出
- 差分管理機能～変更文書を使用した差分抽出
- スクリプトイメージ

■ **ソリューション例**
- 適用パターン
- 各種 SAPアダプタ 機能比較
- 各種 ERP Adapter for SAP 機能比較

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

製品概要

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルクエリアダプタとは

DataSpiderのスクリプト上で、SAPに対して既存のSAPクエリ、もしくはテーブルリストからデータ抽出処理を行うことができるアダプタです。

主な特徴

- SAPテーブルにアクセスしデータを抽出
- SAPクエリによりSAPデータを抽出
- 大容量データのデータ抽出が可能
- BI用DWH作成や、データ移行に適応
- 差分管理（差分抽出）機能を実装

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

アダプタ機能一覧

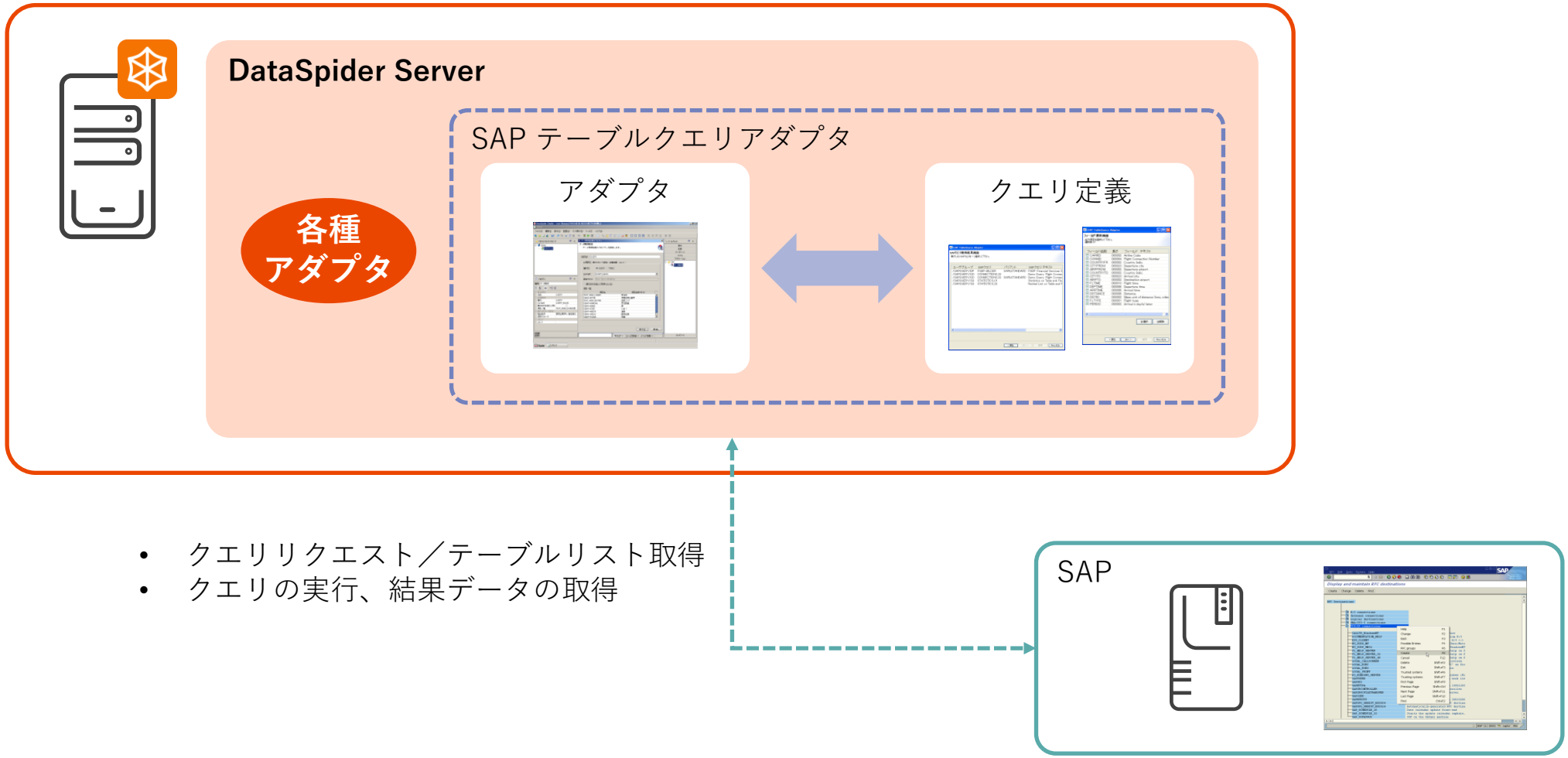
種別	名称	概要説明
処理	**データ取得**	SAPクエリデータまたはSAPテーブルデータを取得します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

製品構成と連携イメージ

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

製品構成と連携イメージ



- クエリリクエスト／テーブルリスト取得
- クエリの実行、結果データの取得

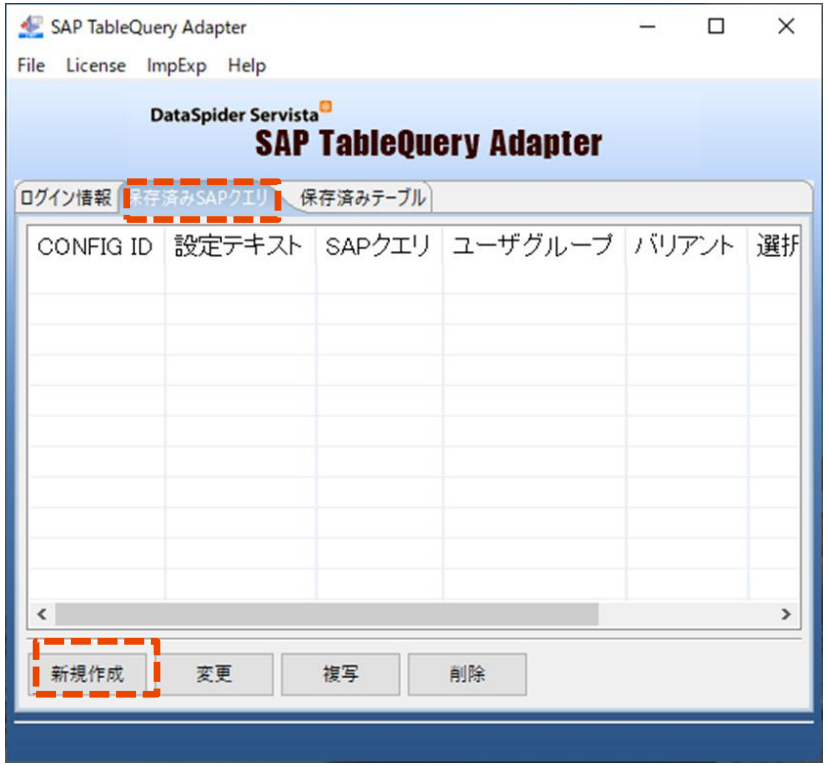
各種処理の設定

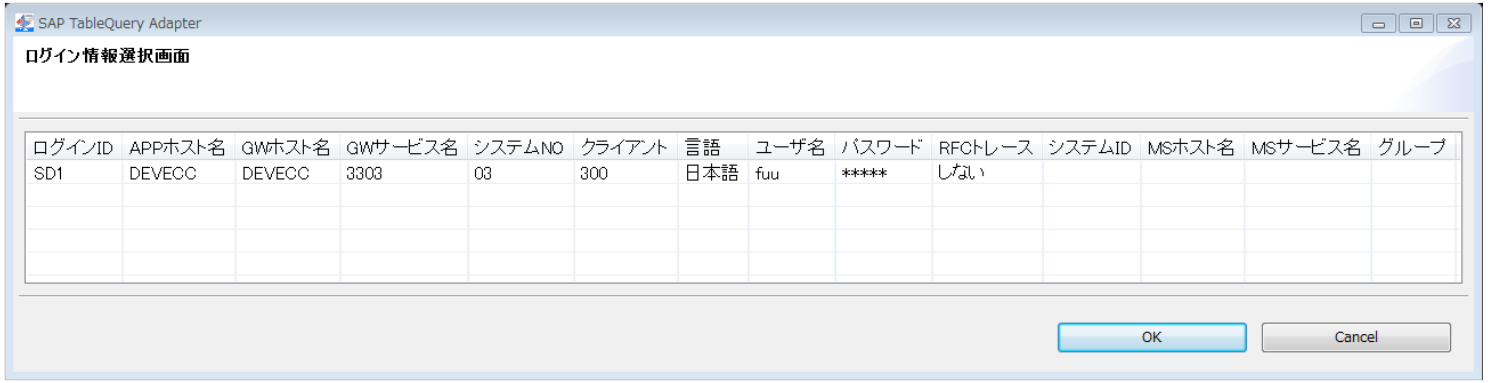
© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAP接続設定処理のイメージ～クエリ選択

コンフィグレーションツールの起動

スタートメニューの「プログラム」－「DataSpider SAP TableQuery Adapter」からコンフィグレーションツールを選択します。
作成したログイン情報を用いてSAP システムへ接続します。SAP クエリを選択し、新規作成ボタンを押下します。
接続したいSAP システムへのログイン情報をダブルクリックするか、画面右下のOK ボタンを押下すると
SAP クエリのデータ抽出定義画面が表示されます。



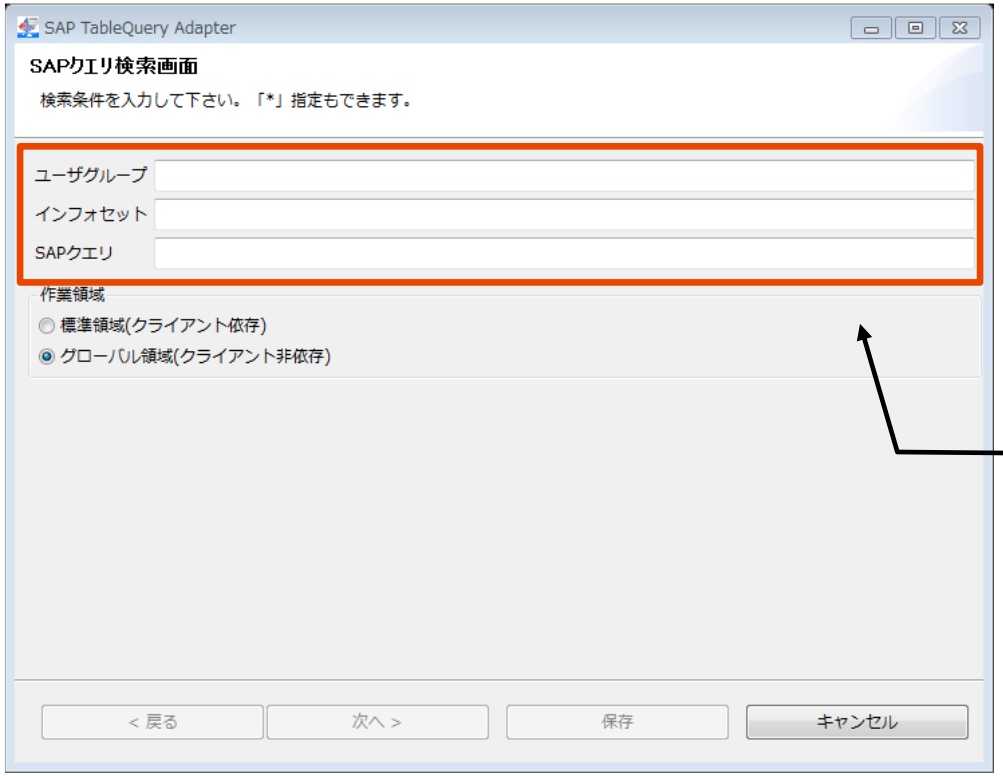


© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面①

「SAP クエリ」タブで新規作成ボタンを押下し、ログイン情報を指定すると、初期画面で実行したいSAPクエリの指定と検索を行えます。

検索条件には「*」ワイルドカードが使えます。



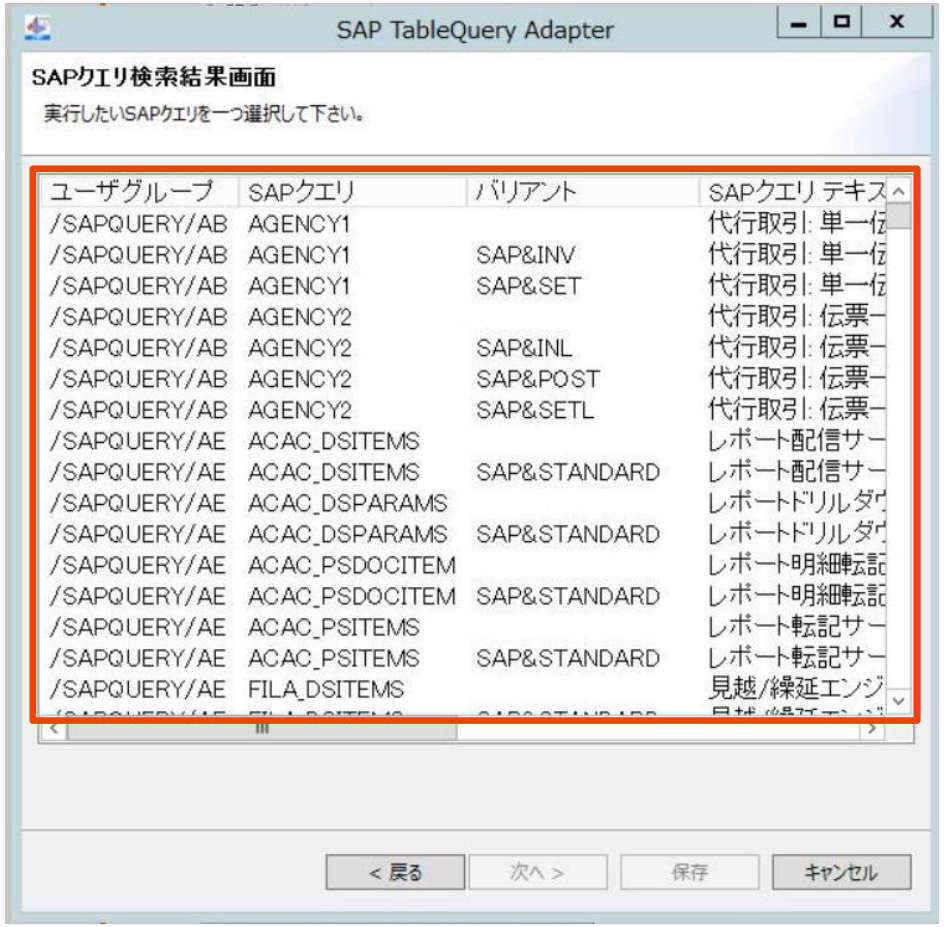
- **ユーザグループ**
- **インフォセット**
- **SAPクエリ**の指定が可能

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面②

検索条件にマッチしたクエリリストが表示されます。

実行したいSAP クエリおよびバリアントの組み合わせを選択します。



© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面③

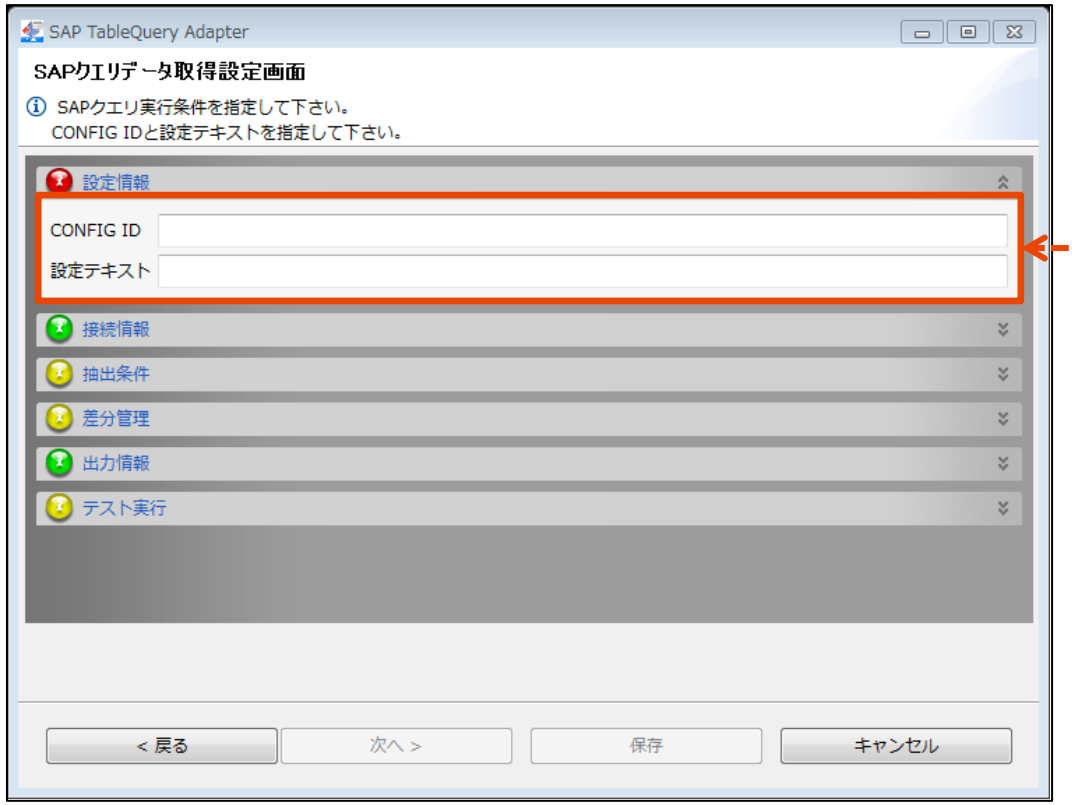
指定したSAP クエリの選択項目と出力項目の一覧が表示されます。

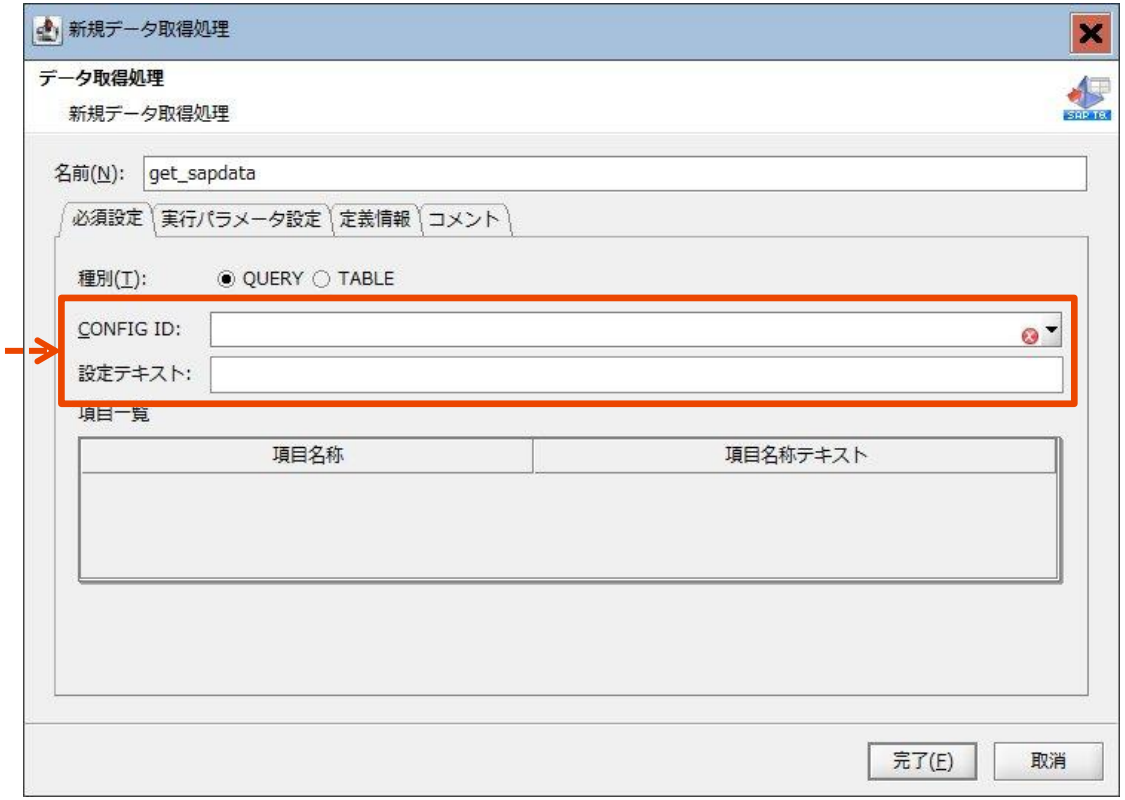
© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面④

設定情報を特定するID とテキストを入力します。

本ID をもとにDataSpider Studio にてスクリプトを作成します。





© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面⑤

データ取得条件を設定します。

No	表示名	内容
1	作業領域	抽出条件を表示します。
	ユーザグループ	指定したユーザグループが表示されます。
	SAP クエリ	指定したSAP クエリが表示されます。
	バリアント	指定したバリアントが表示されます。
2	大文字/小文字を区別する	設定した値の大文字/小文字を区別するかを設定します。
3	選択条件指定	SAPクエリフィールド一覧画面に表示された各項目に対して選択条件を指定する画面を開きます。
	選択項目	選択条件指定を行った条件数を表示します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面⑥

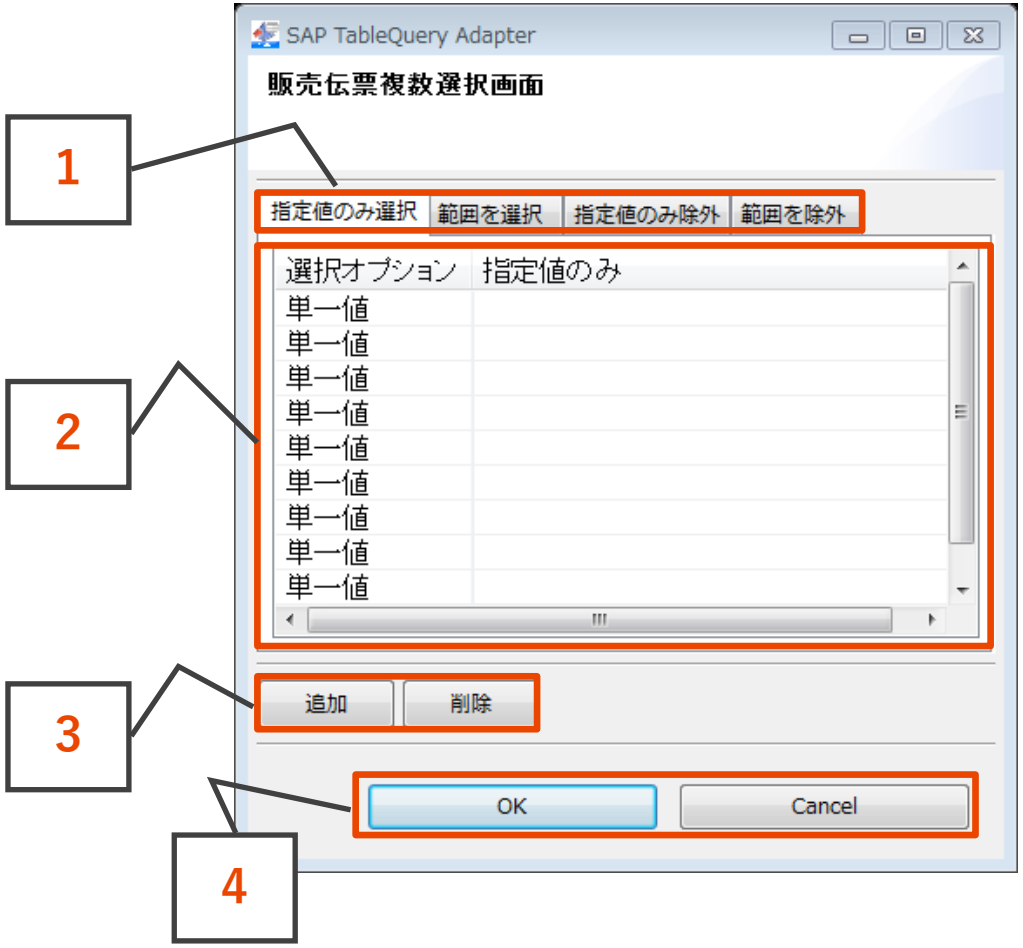
「選択条件指定」ボタン押下後に表示される画面です。

No	表示名	内容
1	選択項目名	各選択項目を表示します。
2	-（From）	比較値を入力します。 本項目は（From）にあたります。
3	-（To）	比較値を入力します。本項目は（To）にあたります。 3 のみのデータ入力はできません。
4	複数選択	その他に条件を指定したい場合に押下し、条件を設定します。
5	OK	設定を有効にします。
	Cancel	設定をキャンセルします。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面⑦

「複数選択」ボタンを押下すると以下のような画面が表示されます。

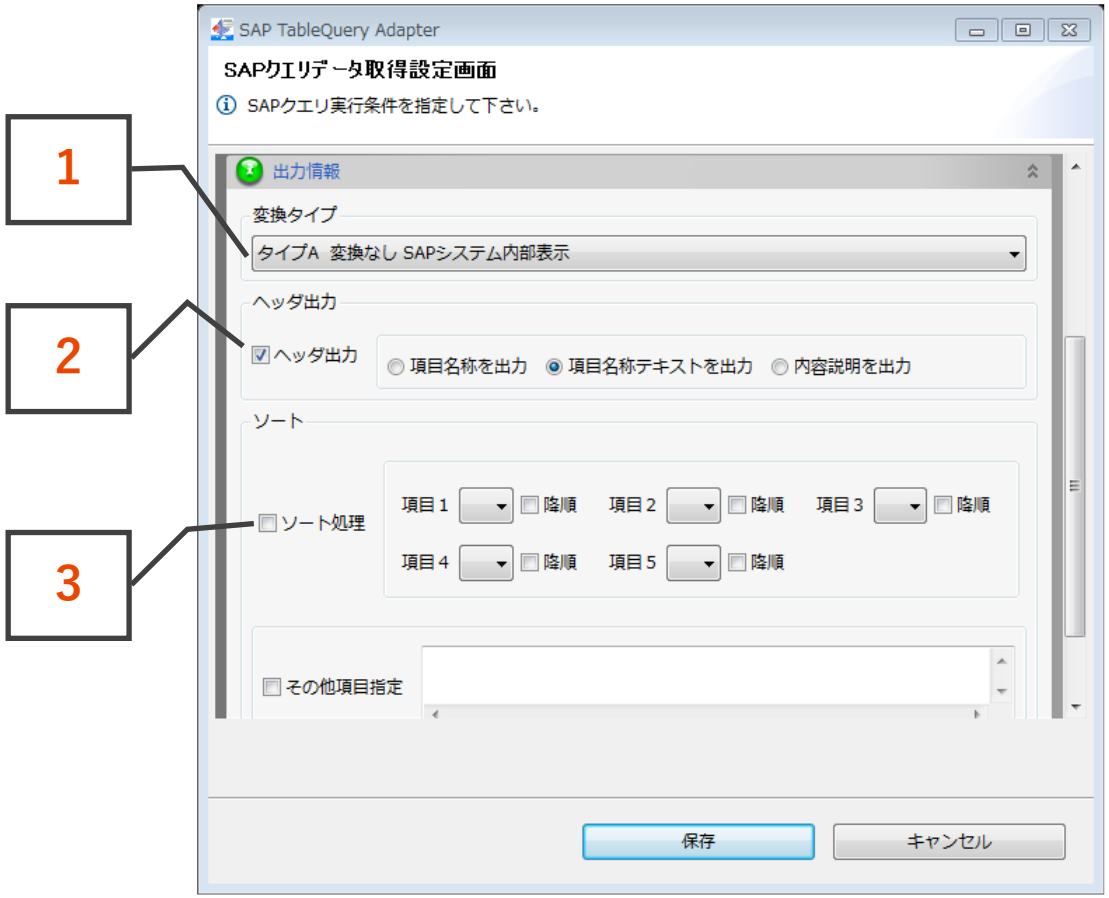


No	表示名	種類	内容
1	選択タブ	タブ	指定値のみ選択、範囲を選択、指定値のみ除外、範囲を除外の各タブがあります。
2	選択オプション	コンボ	項目の比較条件を設定します。
	-	テキスト	比較値を入力します。
3	追加	ボタン	デフォルトで10 行まで条件を設定できますが、それ以上の条件を指定したい場合に項目を追加します。
	削除	ボタン	選択した条件を削除します。
4	OK	ボタン	設定を有効にします。
	Cancel	ボタン	設定をキャンセルします。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPクエリによる検索設定画面⑧

出力情報では、出力フォーマットを設定します。



No	表示名	内容
1	変換タイプ	データ抽出時のフィールド変換タイプを指定します。
2	ヘッダ出力	出力データの見出しを出力します。
3	ソート処理	ソート処理を行います。
	項目	ソート項目を選択します。
	降順	降順ソートする場合にチェックします。デフォルトは昇順です。
	その他項目指定	ソート項目を6 個以上指定する場合に使用します。 ソート項目;(セミコロン)0 or 1 (0 昇順 1 降順) 複数指定する場合は、改行して記述してください。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAP接続設定処理のイメージ～テーブル選択

ログイン情報画面から接続情報を選択します。

次にテーブルタブを選択し、新規作成ボタンを押下します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルによる検索設定画面①

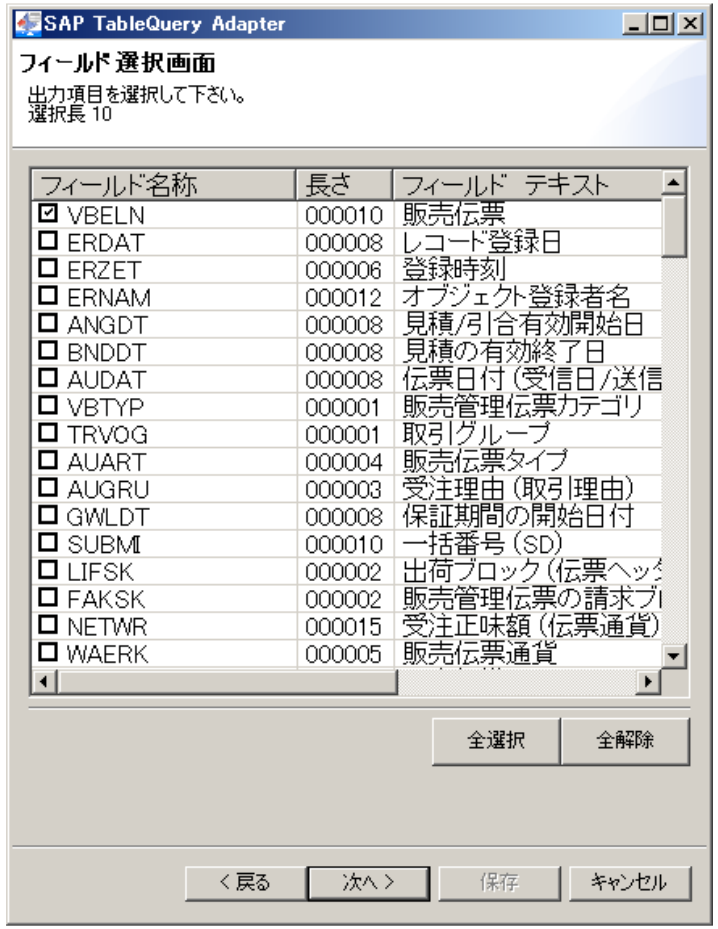
SAP リポジトリ内のテーブル名を指定します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルによる検索設定画面②

指定したテーブルの項目情報が表示されます。

取得したいフィールドを選択します。

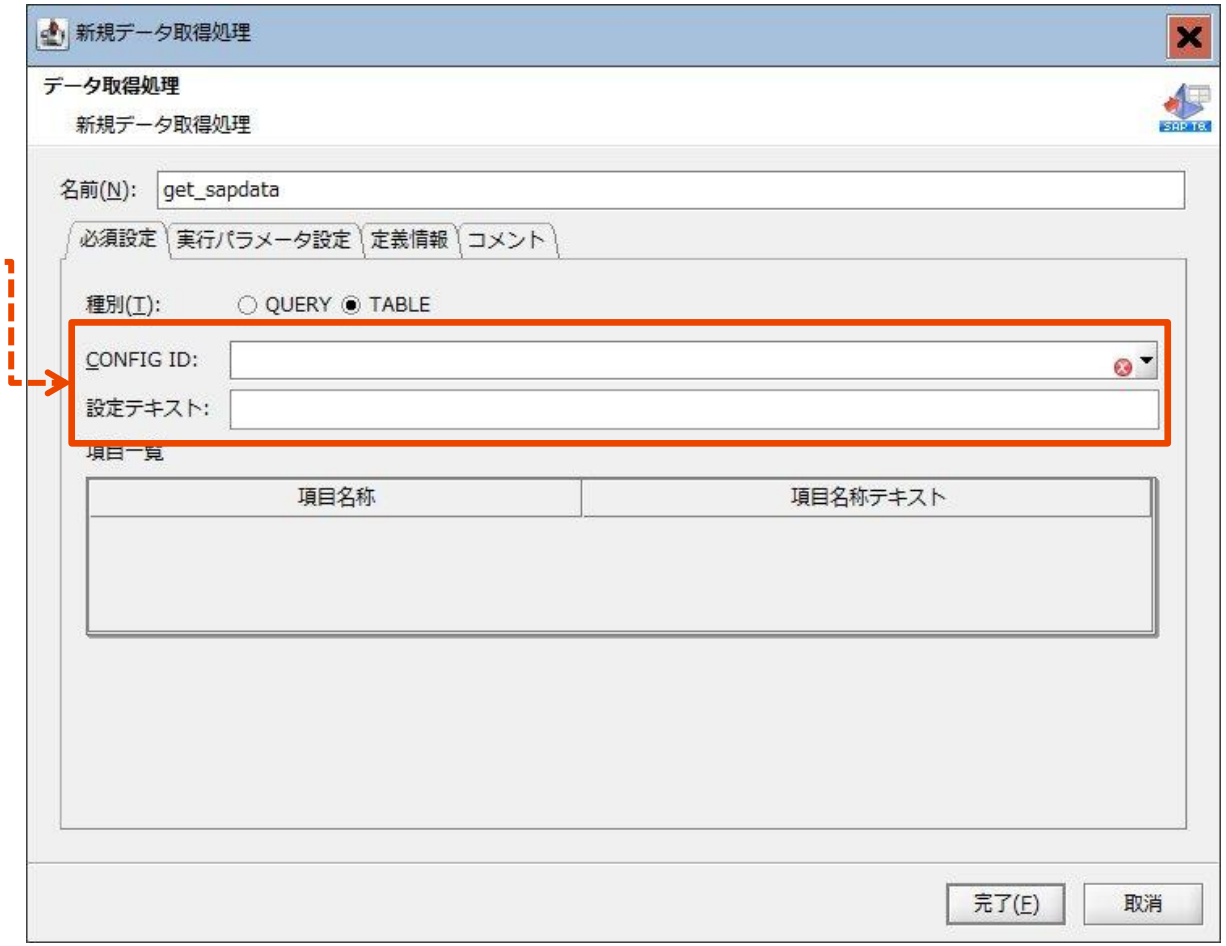


© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルによる検索設定画面③

設定情報を特定するID とテキストを入力します。

本ID をもとにDataSpider Studio にてスクリプトを作成します。



© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルによる検索設定画面④

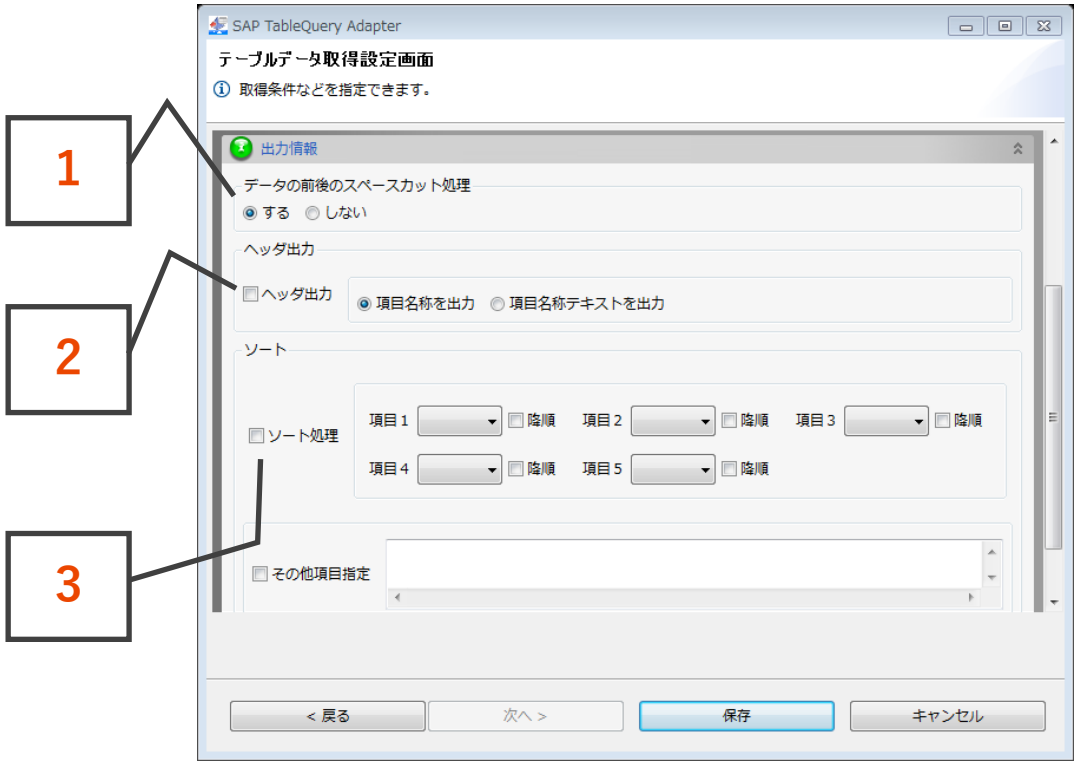
データ取得条件を設定します。

No	表示名	内容
1	大文字/小文字の区別	大文字/小文字の区別をすることが可能です。
2	条件指定	抽出条件指定に使用するフィールド(a)と比較演算子(b)を選択します。 次に、条件値(c)を入力後、追加ボタンを押下すると、「3」に条件が追加されます。
3	条件の直接入力	3 のフィールドに直接条件式を入力することもできます。（ABAP のコーディング規約に準じて入力してください。）

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルによる検索設定画面⑤

出力情報では、出力フォーマットを設定します。



No	表示名	内容
1	データの前後のスペースカット処理	取得データの両端スペース削除処理の「する」、「しない」を設定します。
2	ヘッダ出力	出力データの見出しの「あり」、「なし」を設定します。
3	ソート処理	ソート処理「あり」、「なし」を設定します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAPテーブルによる検索設定画面⑥

設定した内容のテスト実行が可能です。テスト実行では、指定した出力先に結果ファイルを作成します。

No	表示名	内容
1	区切り文字の指定	テスト結果ファイルの出力形式を選択します。
2	文字コードの指定	テスト結果ファイルの文字コードを選択します。
3	出力先ファイルの指定	テスト結果ファイルの絶対パスを設定してください。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

差分管理機能

SAPテーブルクエリアダプタは、SAPシステムに日々登録・更新される大量データに対して、登録日時や変更日時をキーとし、前回データ取得日時以降に登録・変更された差分データのみを抽出できます。

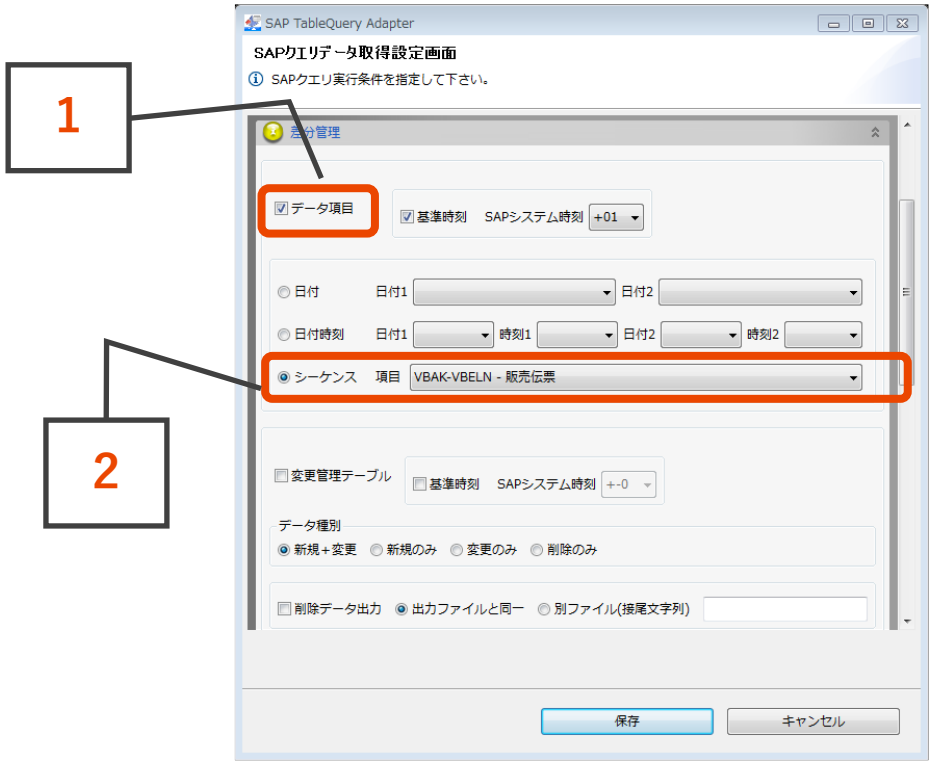
そのため、不必要なデータまで抽出し、後続処理で除外するなどの考慮が不要となります。

- **登録日、変更日を条件キーとした差分抽出**
- **シーケンス項目を条件キーとした差分抽出**
- **変更文書（SAP標準機能）を条件キーとした差分抽出**

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

差分管理機能～シーケンス項目による差分抽出

伝票番号のようなシーケンス値が格納される項目を条件キーとした差分データを抽出できます。



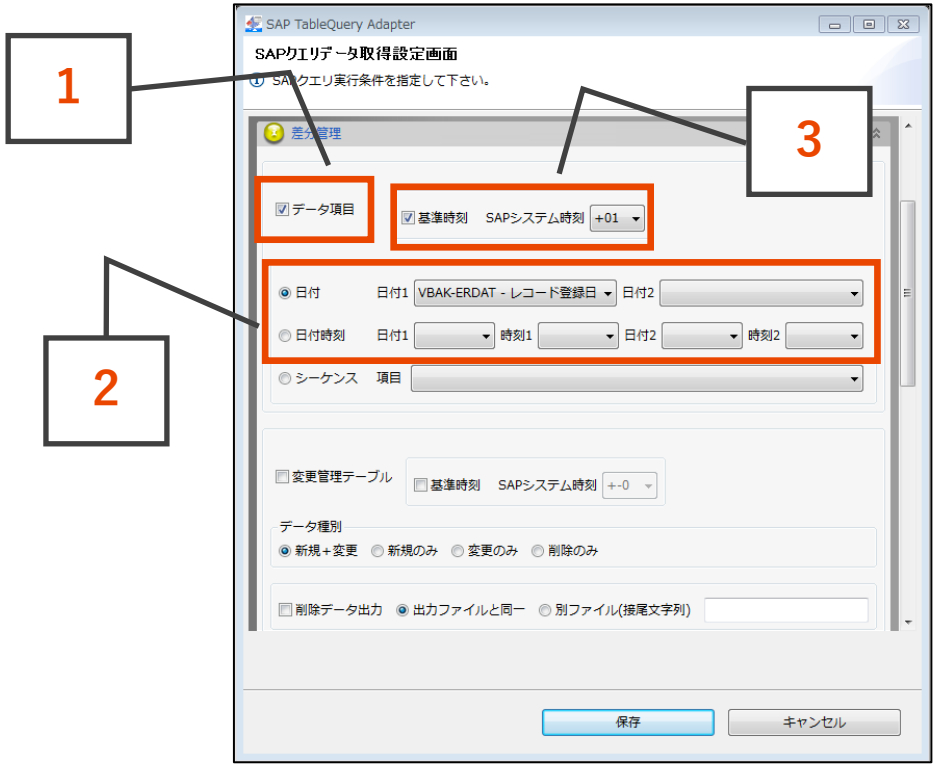
No	表示名	内容
1	データ項目	差分データ抽出を行う場合にチェックします。
2	シーケンス	シーケンスボタンをチェックし、シーケンス項目を選択します。

指定した項目の値が、前回実行時に取得したシーケンス項目値より大きいデータを取得します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

差分管理機能～日付時刻をキーとした差分抽出

日付項目、時刻項目を条件キーとして、前回データ取得日時以降の差分データを抽出できます。



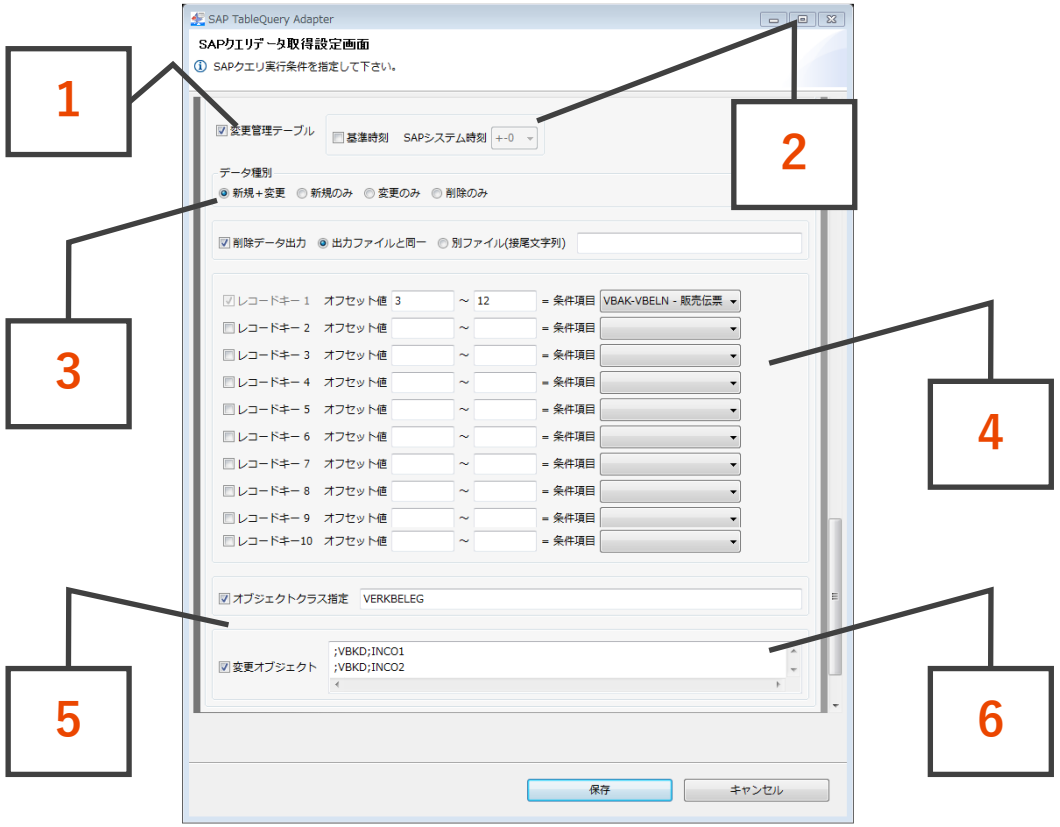
No	表示名	内容
1	データ項目	差分データ抽出を行う場合にチェックします。
2	日付 / 日付時刻	日付または、日付日時ボタンを選択します。日付1及び日付2の最大2項目を条件として追加可能です。
3	基準時刻	各システムのユーザタイムゾーンを考慮し±24時間、1時間単位での指定が可能です 。

指定した項目の値が、前回実行日付から現在日付、または前回実行日時から現在日時までのデータを取得します。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

差分管理機能～変更文書を使用した差分抽出

SAP システムは、データの変更履歴を変更文書テーブルで記録しています。この記録を使用した差分データ抽出です。



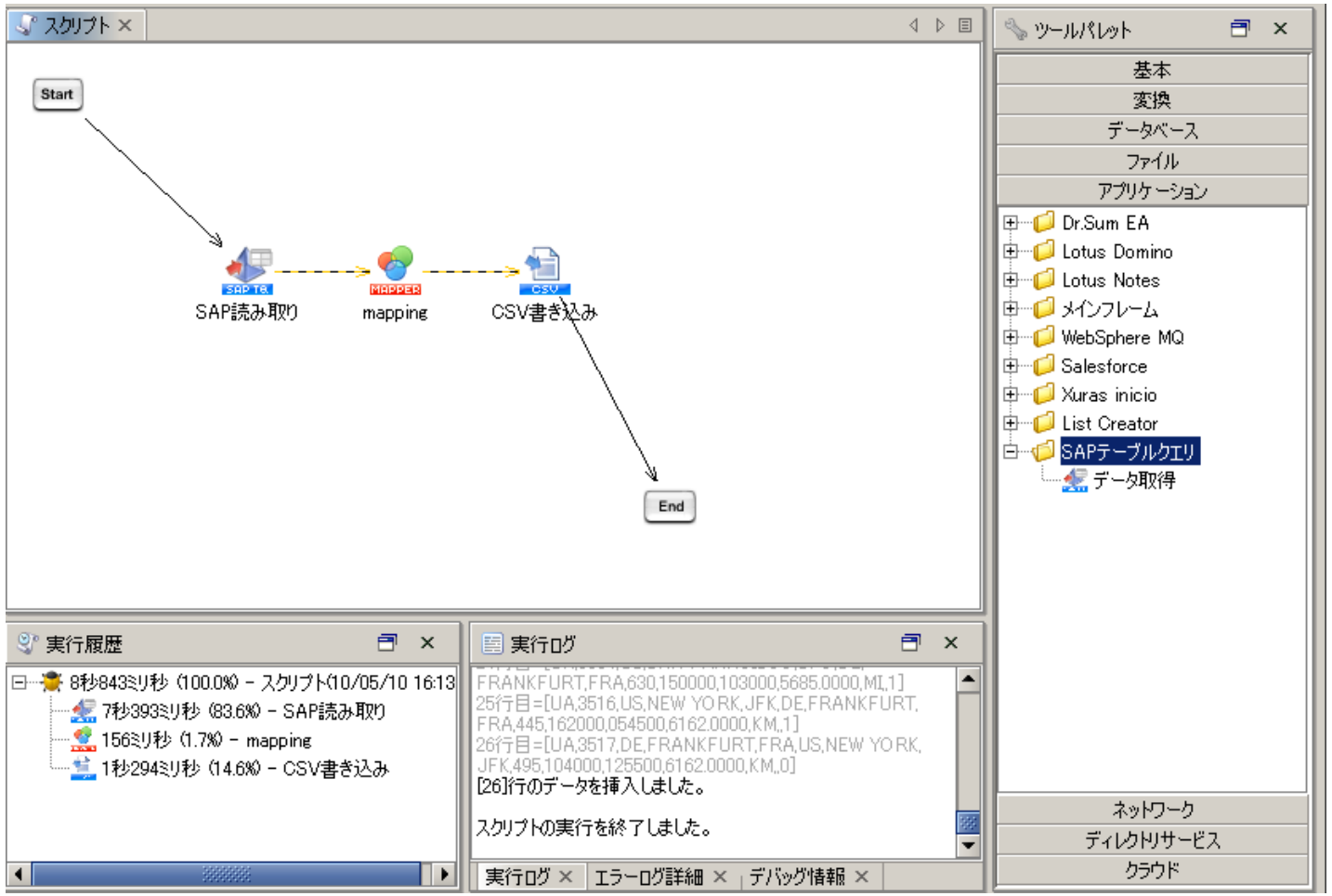
No	表示名	内容
1	変更管理テーブル	差分データ抽出を行う場合にチェックします。
2	基準時刻	変更文書ヘッダテーブル(CDHDR)の日付時刻項目には、SAP システムのシステム日時が記録されます。
3	データ種別	「新規＋変更」「新規のみ」「変更のみ」「削除のみ」の内、どれか一つを選択してください。
4	レコードキー／オフセット／条件項目	変更文書明細テーブルの変更テーブルレコードキーを差分抽出の条件として使用します。キーのオフセット値と条件項目の指定が可能です。
5	オブジェクトクラス指定	SAP 変更履歴のオブジェクトクラス値（CDHDR-OBJECTCLAS）を指定することで検索効率が向上し、処理スピードが上がります。
6	変更オブジェクト	指定した出力項目以外の値が変更された場合も、差分抽出の対象としたい場合に本項目を使用します。

変更文書を使用した差分データ取得の設定は、変更文書明細(CDPOS)の対象値と抽出対象となるSAP クエリまたはテーブルの検索条件キーとのマッピングです。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

スクリプトイメージ

SAPテーブルからデータを取得しCSVファイルへ書き出し処理。



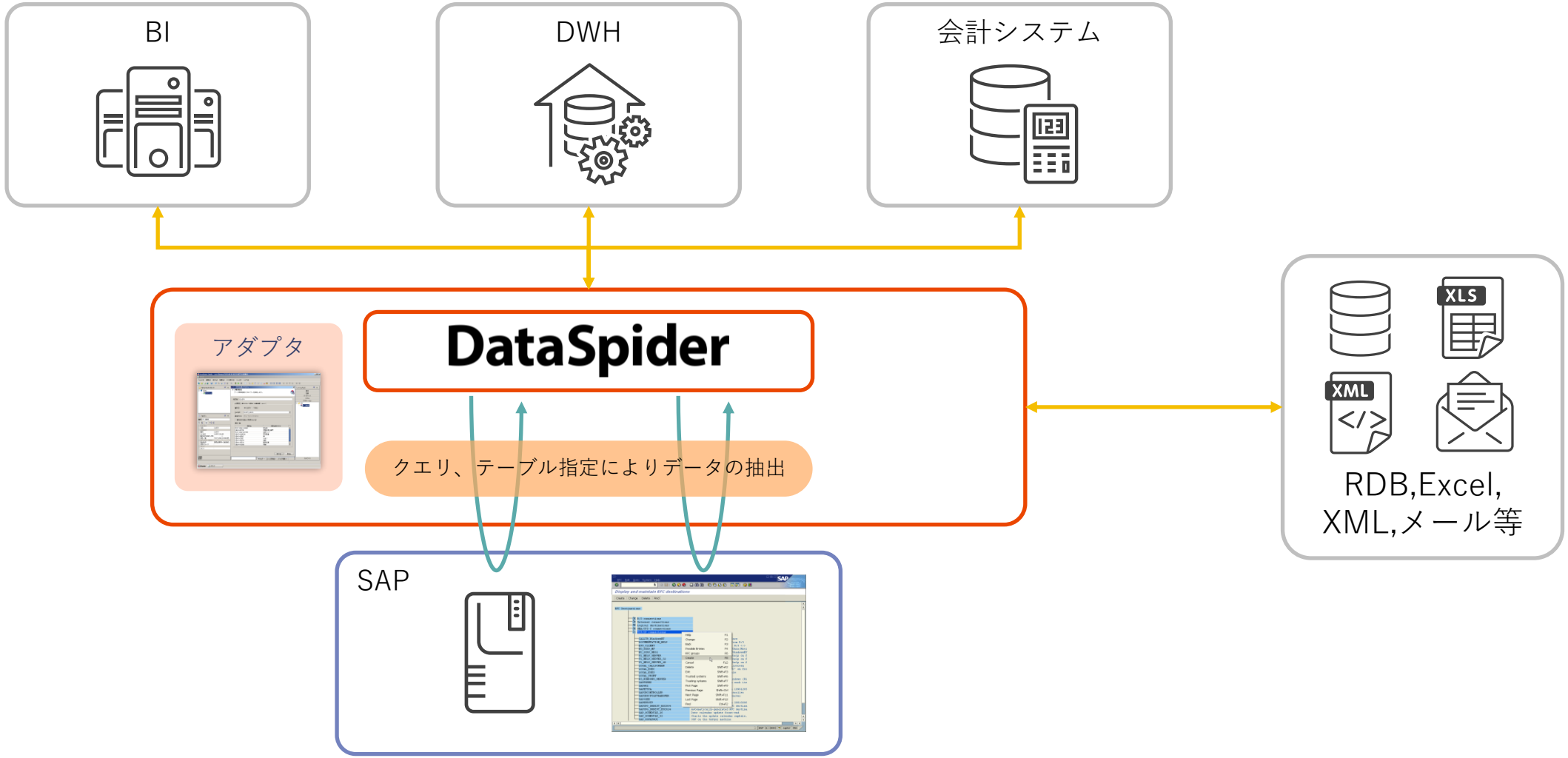
© Saison Technology Co., Ltd. 2025

ソリューション例

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

適用パターン

■ DWHやBI構築のためSAPクエリ、テーブルにより大容量データの抽出が可能です



各種 SAPアダプタ 機能比較

	SAPアダプタ	SAPテーブルクエリアダプタ	SAP BCアダプタ
インバウンド処理	可	ー	可
アウトバウンド処理	可	ー	可
トランザクション処理	可	ー	可
TID管理	可	ー	可
対応インターフェース	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て	（直接SAPのテーブル/ クエリからデータ抽出）	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て
大容量データ処理※1	不可	不可	可
サポートプラットフォーム	Windows / Linux	Windows / Linux※2	Windows / Linux
接続先SAPバージョン	SAPシステム SAP S/4HANA、SAP ERP 6.0(mySAP 2005) ※SAP ERP 5.0(mySAP 2004)には対応していません。	SAPシステム SAP S/4HANA、SAP ERP 6.0	SAP Business Connector 4.8 ※SAP Business Connectorのサポートプラットフォームについては、「SAP Note 1094412」を参照してください。
事前準備	ライブラリのインストールが必要	コンフィグレーションツールのインストールが必要 ライブラリのインストールが必要	Business Connectorサーバが必要
特長	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。グローバルリソースに対応。	大容量データのデータ抽出に適したアダプタ。	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。トランザクション処理が可能。

※1 大容量データ処理とは、DataSpiderが搭載している、大容量データを処理する際に必要な最低限のデータのみメモリに格納し、ほかのデータをファイルに保存することで、大容量のデータの処理を実現する機能です。
※2 Linux版は下記のOSをサポートします。環境設定については、「SAPテーブルクエリアダプタ セットアップガイド」を参照してください。
Red Hat Enterprise Linux Server 6.x (x64版)、Red Hat Enterprise Linux Server 7.x (x64版)、Red Hat Enterprise Linux Server 8.x (x64版)、CentOS7.x (x64版)、Oracle Linux 7.x (x64版)、Oracle Linux 8.x (x64版)

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

各種 ERP Adapter for SAP 機能比較

	DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Basic	DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Query
インバウンド処理	可	ー
アウトバウンド処理	可	ー
トランザクション処理	可	ー
TID管理	可	ー
対応インターフェース	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て	（直接SAPテーブル/クエリからデータ抽出）
大容量データ処理※1	不可	不可
サポートプラットフォーム	Windows / Linux※2	Windows / Linux※2
接続先SAPバージョン	SAP R/3 4.7、SAP ERP 6.0、SAP S/4 HANA	SAP R/3 4.7、SAP ERP 6.0、SAP S/4 HANA
事前準備	SAP Java Connector 3.x SAP Java IDoc Class Library 3.x Microsoft Runtime C++ ライブラリ（Windows環境への導入時のみ）	コンフィグレーションツールのインストールが必要
特長	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。 トランザクション処理が可能。	大容量データのデータ抽出に適したアダプタ。

※1 大容量データ処理とは、DataSpiderが搭載している、大容量データを処理する際に必要な最低限のデータのみメモリに格納し、ほかのデータをファイルに保存することで、大容量のデータの処理を実現する機能です。
※2 必要なソフトウェアおよびLinux版のサポート対象OSについては、「DataSpider ERP Adapter for SAP®インストール手順書」または「ConnectPlusEtセットアップ 事前準備」ドキュメントを参照してください。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025

SAISON TECHNOLOGY

＜免責条項＞

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Saison Technology Co., Ltd. 2025